

令和3年度第1回大府市地域公共交通活性化協議会

議事概要

開催日時	令和3年6月30日（水）午後2時30分～午後3時40分
開催場所	大府市役所5階 全員協議会室
出席者	岡村市長 会長：山内副市長 副会長：田中 委員：荻本、佐野、小林、深谷(太)、池田、大屋、深谷(さ)、鎌田、山内、盛林、横山（代理：北川）、久保田、澤木（代理：小嶋）、豊永（代理：脇田）、竹之内（代理：名和）、中村、三宅（代理：都築） ※敬称略
欠席委員	荒木 ※敬称略
オブザーバー	山田副市長
事務局	伊藤部長、松浦担当部長、福島課長、川出係長、神田主任、小林主事
傍聴者	1名
次第	1. 市長あいさつ 2. 委嘱状配布 3. 会長の指名について 4. 副会長の選任について 5. 報告事項 (1) 令和2年度事業評価について (2) 令和3年度事業実施状況について 6. 議題 (1) 循環バス中央コース路線改正案について 7. その他 (1) 今後のスケジュールについて (2) 循環バス 障害者手帳アプリ「ミライロID」の運用開始について (3) 安全性確保の検討が必要なバス停留所の対策について

司 会：都市政策課長

議事進行：会長

1. 市長あいさつ

2. 委嘱状配布

3. 会長の指名について

岡村市長が山内副市長を会長に指名

4. 副会長の選任について

山内会長が田中委員を副会長に指名

5. 報告事項

事務局が資料説明

<質疑応答>

委員： 新型コロナの影響を受け、公共交通の利用者数が大幅に減少しており、従来どおりの取組で利用者が戻ることは困難であることが予想される。仕事や学校の授業のやり方等、様々なことが大きく変化している。

今後の取組に当たっては、これまでの延長線上ではなく、変化に注視しながら取り組んでいくべきであると考えている。

また、各種公共交通機関が利用者に必要とされていると思うので、今後とも維持していくうえで、皆さんの知恵をいただきたいと思う。

会長： 今後、愛知運輸支局からもアドバイスがあればお願いしたい。

6. 議題

事務局が資料説明

<質疑応答>

委員： 病院等へのバス停の新設について、バス利用者や他の一般者等の通行の安全性、バス停付近の横断や見通し等の安全面についての対応はどのように考えているか。

事務局： 共和病院バス停について、バスや病院の利用者がバスの停車位置を予測しやすくするため、停車位置を路面に明示する予定である。また、バス停付近の見通しが良いことは現地で確認している。

DAIWA防災学習センターバス停について、公道上にバス停を設ける予定であるが、基本的に通過交通がない道路である。また、前後の無信号交差点からの距離は十分に確保できているとともに、バス停周辺の見通しが良いことも確認している。

委員： バス停車時に一般車が追い抜く状況が起こりがちな環境なのか。バスの脇を不意に横切るような状況が起きないか。周辺交通整理についてはどのように考えているか。

事務局： 停車中のバスとすれ違う車両が全くないとは言えない。バスの死角から人が飛び出しての車との錯綜については、路面標示等のハード対策だけで全ての危険を回避はできない。実際には、人が介在したうえで安全確保に努めるものであるため、運行時の対応については、今後、バス事業者と調整したい。

また、共和病院へのアクセスルートについて、現状は視認性が悪いが、本年度、道路拡幅により視認性改良を行い、安全性を向上する予定である。

会 長 : 意見も出尽くしたようなので、ここでお諮りする。議題の(1)循環バス中央コース路線改正案について、今後の軽微な修正について会長に一任をいただくことで承認の方の挙手をお願いする。

— 挙手全員、全会一致のため承認 —

7. その他

事務局が資料説明

中部運輸局愛知運輸支局が資料説明

<質疑応答>

委 員 : 障害者手帳の運賃割引制度は、国が公共交通事業者へ協力を依頼しているものである。「ミライロ I D」の普及の背景は次の2点。

1点目、障害者手帳を提示することにより割引適用を受ける方法が大半であるが、手帳のフォーマットが自治体により異なるため、手帳提示の際の誤解を防ぐよう、統一的なアプリの普及が望ましい。

2点目、交通系 I C の普及に際し、健常者でない方の利便性向上を図るため、交通系 I C の普及に対応可能なアプリの普及が望ましい。

委 員 : 共和駅西バス停のある駅西ロータリーの屋根について、雨漏りがする。

事 務 局 : 一度、市が現場を確認し、道路管理者等の関係者と調整したうえで対応を考える。

委 員 : 神田公民館や体育館等のバス停で、時間調整のためにバスが停車することがある。何分か停車する場合は、運転手からバス車内の利用客に対し、どの程度停車するのかを案内してほしい。

また、神田公民館バス停等について、雑草が伸びていたり、バス停自体が汚れていたり、脇にあるベンチが壊れかけている等があるが、管轄はどこか。

事 務 局 : バスが予定時刻より早くバス停に到着した場合は、バス停で停車することがある。運転手からバス車内の利用者への案内について、バス事業者と調整する。

バス停とその周辺の状況について、市内の様々な場所に設置しているため、常時きれいな状態に維持することは困難ではあるものの、日頃の職員巡回等を通じて、少しでも状態を良くするように努めて参りたい。

ベンチについて、置き式のベンチは地元の有志の方が設置しているものであり、市で管理しているものではないため、ご理解願いたい。

副 会 長 : 大府市のウェブサイトについて、他市町の例を参考として、一般の方に分かりやすく工夫してほしい。循環バスだけでなく、他の交通へどのようにアクセスすれば良いのかを分かりやすくすることで、大府市版 MaaS の実現に繋がり、公共交通がより発展するのではないか。

また、チョイソコとよあけ等のデマンド交通等の事例について学び、循環バスだけに頼るのではなく、様々な交通を選択できるように、決定権が利用者にあるようにすることで、利用者が自立し、セルフコントロールできるように、是非、勉強してもらいたい。

委 員 : 知多乗合では、ICカードの導入について準備を進めている。東海営業所管轄のうち21車両を対象に、早ければ10月、今年度中には導入する予定である。

委 員 : タクシー業界では、福祉車両の導入を検討していることに加え、4月から精神障がい者の障がい者割引を開始した。従来の障害者手帳の提示ではなく、「ミライロID」への対応等、様々な取組をしていきたいと考えている。

また、タクシーは広域的な移動をする側面があることから、既存の公共交通の隙間を担う部分があるのではないかと考えている。

副 会 長 : 日本福祉大学が知多乗合の営業区域にあるため、知多乗合が障がい者への対応、配慮においてハイレベルであると認識している。是非、そのマインド、技術を上手に発揮してもらいたい。

— 終 了 —